



MIKUNI VM22 キャブレターキット 取扱説明書

商品番号 : 03 05 0118 キャブレターキットSステージ用
: 03 02 0018 マニホールドセットSステージ用

適応車種及びフレーム番号

DAX50:ST50-1000001~(6300022~6346265除く)
:AB26-1000001~

- ・この度は、弊社製品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。
- ・取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合がありますので、予めご了承下さい。

ご使用前に必ずお読み下さい

取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、弊社は賠償の責を一切負いかねます。
当製品を取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どのような事柄でも一切負いかねます。
当製品を加工等された場合や取り付けられた場合は、保証の対象にはなりません。

他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。

当製品は、上記適応車種、フレーム番号の車両専用です。他の車両には取り付け出来ませんのでご注意ください。

エンジン内部に水が入り込んだ場合、エンジン不調の原因となりますので、雨天中の走行は出来るだけ避けて下さい。又、洗浄時等はキャブレターに水が掛からないようビニール等で覆って下さい。

キャブレターは、天候・湿度・気温・標高や気圧等、自然現象及び車体差、キャブレターの個体差等によりセッティングを変更する必要があります。個々のエンジン、条件に合ったセッティングを行って下さい。

車体番号ST50-1000001~(6300022~6346265除く)の車両はハイスロットルセットが別途必要です。

車体番号ST50-1000001~(6300022~6346265除く)の車両はキャブレターのドレンホース取り付け部が干渉します。ドレンホース取り付け部をニッパー等を使用し、切断して下さい。

注意 この表示を無視した取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害が想定される内容を示しています。

- ・作業等を行う際は、必ず冷間時（エンジンおよびマフラーが冷えている時）に行ってください。（火傷の原因となります。）
- ・作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。（部品の破損、ケガの原因となります。）
- ・規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行ってください。（ボルトおよびナットの破損、脱落の原因となります。）
- ・製品およびフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、手を保護して作業を行ってください。（ケガの原因となります。）
- ・走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みが無いかを確認し緩みがあれば規定トルクで確実に増し締めを行ってください。（部品の脱落の原因となります。）

警告 この表示を無視した取り扱いをすると、人が死亡したり重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- ・走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。（事故につながる恐れがあります。）
- ・作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行ってください。（作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。）
- ・点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。（不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。）
- ・点検、整備等を行った際、損傷部品が見つければ、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行ってください。（そのまま使用すると事故につながる恐れがあります。）
- ・ガソリンは、非常に引火しやすい為、一切の火気を避け燃えやすい物が周りに無い事を確認して下さい。又、気化したガソリンの滞留は、爆発等の危険性がある為、通気の良い場所で作業を行ってください。
- ・製品梱包のビニール袋は、幼児の手の届かない所に保管するか、廃棄処分して下さい。（幼児がかぶったりすると、窒息の恐れがあります。）

性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で製品および価格は予告無く変更されます。予めご了承下さい。

クレームについては、材料および加工に欠陥があると認められた製品に対してのみ、お買い上げ後1ヶ月以内を限度として、修理又は交換させていただきます。但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。

なお、レース等でご使用の場合はいかなる場合もクレームは一切お受け致しません。予めご了承下さい。

この取扱説明書は、当製品を破棄されるまで保管下さいます様お願い致します。

~ 商 品 内 容 ~



番号	部品名	個数	リペア品番	入数
1	VM22キャブレター	1	03-03-0060	1
2	インレットパイプ	1	17111-GEF-T10	1
3	インシュレーター	1	00-03-0010	1
4	インタークマニホールドガスケット	2	00-01-0159	2
5	ソケットキャップスクリュー 6X30	2	00-00-0090	5
6	ソケットキャップスクリュー 6X25	2	00-00-0089	10
7	ソケットキャップスクリュー 6X15	1	00-00-0042	10
8	ソケットキャップスクリュー 6X10	1	00-00-0065	10
9	ロックナット 6mm	2	00-00-0121	10
10	メインジェット #105	1	00-03-0185	1
11	スロットルケーブル 810mm	1	09-02-0081	1
12	フューエルコック	1	00-03-002	1
13	フューエルコックスター	1	16015 126 T00	1
14	カラー 8.5X16X4.8	1	90232 STW-T00	1
15	フューエルチューブ 200mm	1	00-03-0203	1
16	チューブクリップ	2	00-03-0214	2
17	スロットルパイプ	1	09-02-0303 (ラバーグリップ付)	1
	六角棒レンチ5mm	1		

出荷時キャブレター状態

メインジェット	#95
パイロットジェット	#15
ジェットニードル	E4CM2
クリップポジション	4段目
スロットルバルブカッターウェイ	#2.0
エアスクリューオープニング	1 1/2
フロート高さ	21mm

印はマニホールドキットの内容を示しています。

リペアパーツは必ずリペア品番にてご発注下さい。品番発注でない場合、受注出来ない場合もあります。予めご了承下さい。尚、単品出荷出来ない部品もありますので、その場合はセット品番にてご注文下さいませお願い致します。

セッティングパーツ

メインジェット

#80、#85、#90、#95、#100、#105、#110、#115、#120、#125、
#130

パイロットジェット

#10、#12.5、#15、#17.5、#20、#22.5、#25

更なる性能を発揮させる為に

スタンダードハイスロットル(09-02-0223)の取り付けが可能です。

エアフィルター(03-01-100/102/106/108)、ハイフローフィルター(03-01-1064)の取り付けが可能です。



～ 取 り 付 け 要 領 ～

SET内容を、ご確認下さい。

(取 り 付 け 準 備)

△ 注意：エンジン、マフラーが冷えていることを確認する事!!
：車両を安定させる事!!

ガソリンコックを取り外す為、ガソリンは出来るだけ少なくしておいて下さい。

1. フューエルコックが閉じている事を確認してキャブレターのドレンコックを開きフロートチャンバーからガソリンを受け皿に抜き取ります。
2. パンスクリューを外しキャブレターからガソリンコックを取り外します。



3. トップキャップを外します。



エアクリーナーマウントボルト、インレットパイプマウントボルトを外し、インレットパイプごとキャブレターを取り外します。インテークポート内に異物等が入らないよう注意して下さい。



4. エアクリーナーマウントボルト、ナットを外しエアクリーナーケースをフレームから抜き取ります。



5. 6V DAX50
フレーム番号がST50から始まる車両は、別途ハイスロットルセットが必要となります。購入されたハイスロットルパイプの指示に従いスロットルを取り付けます。

- 12V DAX50
フレーム番号がAB27から始まる車両は、スロットルパイプをキット内のハイスロットルパイプに交換します。

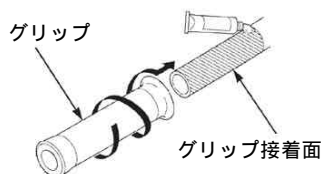
6. スロットルハウジングのパンスクリューを外し、スロットルケーブルを抜き取ります。スロットルハウジング、パンスクリューは再利用しますのでご注意ください。



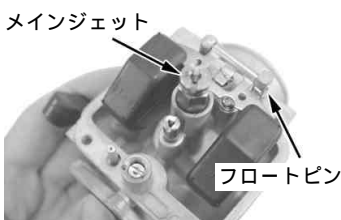
7. 取り外した部品を袋等に入れ保管します。汚れ、古くなったグリスを拭き取ります。

8. ノーマルのスロットルパイプからグリップを取り外し、キット内のスロットルパイプに取り付けます。

- ・グリップの内周面、スロットルパイプの外周面の汚れを取り除き、接着面に“HONDAボンドA”又は“セメダイン#540”を薄く塗布し、接着剤が乾かないうちにグリップを回しながら取り付けます。



9. キャブレターのフロートチャンバーを取り外し、メインジェットをキットの物と取り替えます。フロートピンは外れ易いので注意して下さい。



- 車体番号ST50-1000001～(6300022～6346265除く)の車両はキャブレターのドレンホース取り付け部がクランクケースと干渉します。ドレンホース取り付け部をニッパー等を使用し、切断して下さい。

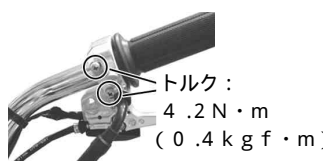


10. スロットルハウジングロア側にキット内のスロットルケーブルを取り付け、インナーケーブルをキット内のスロットルパイプと接続させます。



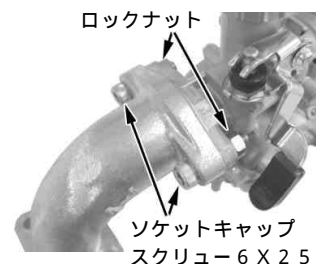
11. スロットル摺動面にグリスを塗布し、スロットルハウジングを取り付けます。パンスクリューを締め付けます。前方のパンスクリューを締め付けた後、後方のパンスクリューを締め付けます。

△ 注意：必ず規定トルクを守る事。
トルク：4.2 N・m
(0.4 kgf・m)

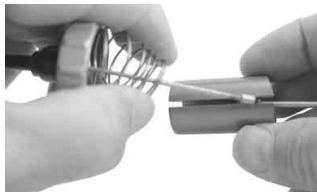


12. スロットルケーブルのロックナットを締め付けます。
13. キャブレターとインレットパイプをソケットキャップスクリュー6X25/ロックナット2セットで取り付けます。

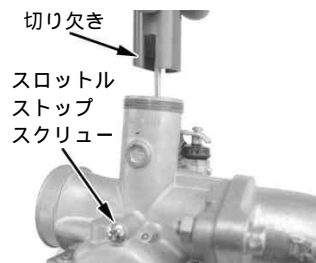
△ 注意：必ず規定トルクを守る事。
トルク：10 N・m
(1.0 kgf・m)



14. キャブレターのトップキャップを外し、スプリングとスロットルバルブを取り外します。
15. スロットルケーブルにトップキャップ、スプリング、スロットルバルブを取り付けます。



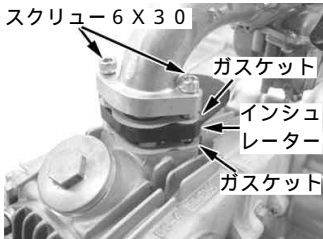
16. スロットルバルブの切り欠き部をキャブレターのスロットルストップスクリューに合わせ、取り付けます。



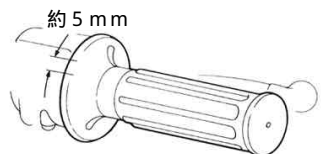
17. シリンダーヘッドにガスケット、インシュレーター、ガスケット、インレットパイプの順になるようにソケットキャップスクリュー 6 X 3 0 2本にて取り付けます。

△注意：必ず規定トルクを守る事。
トルク：10 N・m
(1.0 kgf・m)

ソケットキャップ
スクリュー 6 X 3 0



18. スロットルグリップ部で 5 mm程度の遊びになるようにスロットルケーブルのアジャスターを調整します。スロットルを数回スナップさせ、スロットルバルブの開閉状態を確認します。又、ハンドルを左右に一杯切った状態でもスロットルに遊びがあることを確認して下さい。



19. フューエルホースの長さを調整し、フューエルコック、キャブレターに差し込みホースクリップ 2 個を止めます。



20. フューエルコックを開き、各部からのガソリン漏れの有無を確認します。(コックを開いたまま長時間放置しないで下さい。)
チョークレバーを引きエンジンを始動させます。
チョークレバーを徐々に戻し、回転がスムーズになるまで暖機運転を行い、チョークレバーを完全に戻します。
エンジン暖機後アイドリングしない場合やアイドリング回転数が高い場合は、スロットルストップスクリューで調整します。
安全な場所で十分注意し、個々の車体に合ったセッティングを行って下さい。

株式会社 **SPECIAL PARTS** 武川

〒584-0069 大阪府富田林市錦織東三丁目5番16号

TEL 0721 25 1357

FAX 0721-24-5059

お問い合わせ専用ダイヤル 0721 25 8857

URL <http://www.takegawa.co.jp>

キャブレターセッティング要領

- ・キャブレターがエンジンに適合していない時のエンジンに現れる不調の原因は、混合気が濃すぎるか薄すぎるかの2つの原因に絞られます。
- ・エンジンに現れる不調の現象は次の通りです。

混合気が濃すぎる時	混合気が薄すぎる時
<ul style="list-style-type: none"> ・爆発音が重い感じで断続する。 ・チョークを作動すると、より調子が悪くなる。 ・エンジンが暖機すると調子が悪くなる。 ・クリーナーを外すと調子が良くなる。 ・排気ガスが濃い。(黒い) ・プラグが黒くくすぶる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・エンジンがオーバーヒート気味になる。 ・チョークを作動すると、調子が良くなる。 ・加速が悪い。(息付きをおこす) ・回転変動があり、力がない。 ・プラグが白く焼ける。

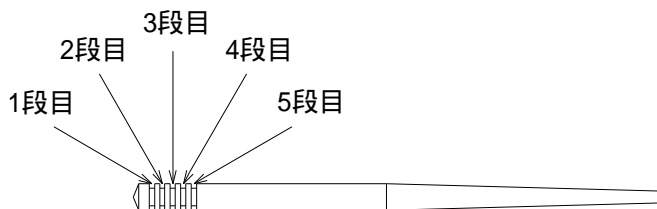
キャブレターのセッティングは暖機後に行い、走行確認を行って下さい。又、プラグは適正な熱価の物をご使用下さい。エンジン回転後、スロットル開度等により、どの範囲でエンジンが不調になるかを考慮し、下記の要領でセッティングして下さい。

ジェットニードル (スロットル開度 1 / 4 3 / 4)

加速時、スロットルに回転がついて来るか、来ないか

- ・息付きをする場合、濃くして下さい。
- ・回転の上がり重く、排気ガスが黒い場合は薄くして下さい。

この開度での混合比は、Eリングを入れる溝の段数で調整出来ます。Eリング位置が1段目から5段目へ下がるにつれ混合気は濃くなります。



メインジェット (スロットル開度 3 / 4 4 / 4)

この開度での混合比は、ジェットの番数を変えることにより調整出来ます。番数を上げると混合気が濃くなります。仕様等を考慮の上、最高回転数(最高速度)の得られる物を選んで下さい。

パイロットジェット (調整前にもまずエアスクリューを調整して下さい。)

- ・エアスクリューの戻し量 3 .0 回転以上の場合、パイロットジェットを小さくして下さい。
- ・エアスクリューが全閉になる場合は、パイロットジェットを大きくして下さい。
- パイロットジェットはアイドルリングから低速運転時に、エンジン回転数がスムーズに立ち上がるか否かを確認します。
- ・回転上昇に谷が出来る場合、パイロットジェットが小さ過ぎます。(アイドル回転時)
- ・排気が濃く排気音が重い場合、パイロットジェットが大き過ぎます。(アイドル回転時)
- ・パイロットジェット交換時には、エアスクリューの再調整が必要です。

エアスクリュー

エアスクリューはスロー系の空気流量を調整します。(アイドルリング時)

- ・エアスクリューを右に回す 混合気が濃くなる。
- ・エアスクリューを左に回す 混合気が薄くなる。

標準戻し回転数(1.5回転)に合わせ、左右に1 / 4 1 / 2 回転ずつ回しエンジン回転数が最も高くなる位置に調整します。アイドルストップスクリューで安定したアイドル回転まで下げ、もう一度エアスクリューで最も回転数が高くなる位置に調整します。

気圧、気温、湿度によるセッティングへの影響

- ・高地等で気圧が下がると空気密度が下がり、キャブレターへ吸入される空気量が減少します。この為、低地で調整されたキャブレターは混合気が濃くなります。
- ・非常に気温の低い天候下では、空気密度が上がる為、キャブレターの混合気は薄くなります。
- ・雨天の場合は湿度が上がる為、空気密度が下がりキャブレターの混合気は濃くなります。

性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で商品および価格は予告無く変更されます。あらかじめご了承下さい。

クレームについては、材料および加工に欠陥があると認められた商品に対してのみ、お買い上げ後1ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。

この取扱説明書は、本商品を破棄されるまで保管下さいませお願い致します。

株式会社 **SPECIAL PARTS 武川** 〒584-0069 大阪府富田林市錦織東三丁目5番16号
 TEL 0721-25-1357 FAX 0721-24-5059 URL <http://www.takegawa.co.jp>
 お問い合わせ専用ダイヤル 0721 25 8857